

Ⅱ 調査結果の概要

総じて厳しい状況が続き、設備投資の動きも鈍化

1. 全体の概況

売上高と収益性を合せたD I 平均値(前年同期比)については▲22.2 となり、前回調査(28 年1-3 月期)の▲20.6 から1.6 ポイント下降している。来期見通しにおいては、4.0 ポイント上昇して▲18.2 となる見通しになっている。

売上高D I (前年同期比)については▲21.5 となり、前回調査から0.1 ポイント下降している。来期見通しにおいては4.5 ポイント上昇して▲17.0 となる見通しになっている。

収益性D I (前年同期比)については▲22.8 となり、前回調査から3.1 ポイント下降している。来期見通しにおいては3.4 ポイント上昇して▲19.4 となる見通しになっている。

業況D I (前年同期比)については▲19.1 となり、前回調査から3.4 ポイント下降している。来期見通しにおいては1.4 ポイント上昇して▲17.7 となる見通しになっている。

原材料価格D I (前期比)については6.8 となり、前回調査から2.3 ポイント下降している。

販売価格D I (前期比)については▲6.4 となり、前回調査から1.5 ポイント下降している。

資金繰りD I (前期比)については▲10.3 となり、前回調査から3.9 ポイント上昇している。

金融機関の態度D I (前期比)については2.4 となり、前回調査から0.1 ポイント上昇し緩和している。

設備投資実施率については24.3%となり、前回調査から6.3 ポイント下降している。業種別で高い実施率となったのは「プラスチック製品」・「食料品」・「機械・機器」、目的別では「品質向上」が32.1%でトップとなっている。

来期の設備投資計画率については30.7%となり、前回調査から1.5 ポイント下降している。

設備操業率D I (前期比)については▲18.2 となり、前回調査から1.5 ポイント上昇している。

雇用人員判断D I (前期比)については4.7 となり、前回調査から3.9 ポイント下降し、不足感が弱まっている。

全体の景況天気図は前回同様「小雨」が続いており、来期見通しにおいても「小雨」が続く見通しとなっている。

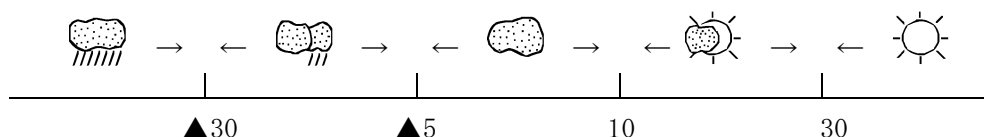
業種別に見ると「プラスチック製品」は「小雨」から「曇」、「紙・加工品」は「雨」から「小雨」へ前回調査と比べそれぞれ回復している。反面、「繊維・同製品」は「薄日」から「小雨」へ悪化している。また、「機械・機器」・「木材・木製品」・「食料品」・「金属・同製品」は「小雨」、「窯業・土石製品」は「雨」と、それぞれ前回調査同様の天気図となっている。

来期見通しにおいては「プラスチック製品」は「曇」、「機械・機器」・「食料品」・「繊維・同製品」・「金属・同製品」・「木材・木製品」・「紙・加工品」は「小雨」、「窯業・土石製品」は「雨」が続き、全業種において今回調査同様の天気図となる見通しである。

【図表 1】

	26			27				28		来 期 見 通
	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	
全 体	 ▲3.2	 ▲12.6	 ▲13.0	 ▲14.0	 ▲20.1	 ▲21.9	 ▲14.9	 ▲20.6	 ▲22.2	 ▲18.2

※景況天気図は「売上高」「収益性」（前年同期比）のD I 平均値を下記の基準に当てはめたもの。



【図表 2】

